

第3章

秋田の目指す将来の姿

1 目指す将来の姿～「高質な田舎」を目指して～

全国的な人口減少や労働力不足、経済のグローバル化の進行、第4次産業革命の進展とそれに伴う就業構造の変革等、我が国を取り巻く情勢は大きく変化しています。そうした、大きな時代の変革を迎えているなか、前章で触れているとおり、将来の本県の発展を支える礎ができつつあります。

一方で、本県人口は全国最大のペースで減少しており、急速に進行する少子高齢化と相まって引き起こされる経済規模の縮小や地域活力の低下など、様々な課題への対応が急務となっています。

こうした時代の大きな変革や、人口減少と少子高齢化に伴う課題への対応も踏まえながら、本県が持続的に発展を目指していくためには、長期的な視点に立って進むべき方向を示す羅針盤が必要となります。

そのため、おおむね10年後の秋田の将来を見据え、目指す将来の姿として、「豊かな自然や多様な文化など『秋田の原点』を守りつつ、ここに住む県民の誰もが、一人ひとり素養を磨き、豊かな心でお互いを慈しみ合いながら、新たな産業や新たな文化の創造にチャレンジする姿」を『高質な田舎』として思い描きながら、「秋田の将来像」を次のとおり掲げます。

人口減少を抑制し、県民が豊かさを実感して生き生きと暮らすことができる「ふるさと秋田」

2 10年後の目指す姿

おおむね10年後の具体的な目指す姿として、次のとおり思い描きます。

(1) 人口減少が抑制され、地域で安心して暮らせる秋田

①人口減少の抑制

女性や若者の県内定着が進んでいるほか、首都圏等からの移住者も増加し、人口の社会減が解消されています。また、若い世代の結婚・出産・子育ての希望がかない、出生数減にも歯止めがかかっています。

- 女性や若者をはじめ、県民に魅力ある職場が創出され、県内の新規高卒者や大卒者の県内就職率が大きく向上し、県内定着に結びついているほか、県内から県外大学へ進学した若者の県内回帰が進んでいます。
また、県内各地で、首都圏等からの多くの移住者に加え、女性や若者が起業等に取り組み、地域の元気を創出しています。
- 日本一の子育て環境が整っており、家庭を持ち子どもを生き育たい県民の希望が多くかかっています。
- 女性が幅広い分野で活躍しているとともに、男女とも仕事と家庭の両立を無理なく実現できています。

②安心して暮らせる地域の実現

県・市町村との更なる協働による安定的な行政サービスの提供やNPO等の多様な主体による共助を通じて地域課題の解決が進み、県民の安全・安心な生活が確保されています。

- 県と市町村間の協働等により、行政サービスの水準が維持され、インフラ施設も計画的に維持・管理されています。また、雪対策、買い物支援、交通弱者支援など、住民やNPO等の多様な主体による共助が進み、多くの県民が住み慣れた地域で安心して生活しています。
- 県内各地で、地域に活力を生み出す若者が活躍しており、住民主体による地域活性化の取組が活発となっています。
- 自動運転技術を活用した生活交通の整備やICTを活用した見守りなどの最新の科学技術の活用により、マンパワーが不足するなかでも、住民の安心な生活が確保されています。また、ICTを活用したインフラの効率的な保守点検が進んでいます。

(2) 産業競争力が強化され魅力ある雇用が創出される秋田

①産業競争力の強化

県内企業の企業間連携の促進やイノベーションが進み、県外への売り込みが活発になっており、産業競争力が強化され、魅力ある雇用が生み出されています。また、賃金をはじめとした処遇や就労環境の改善などにより、県内外からの優秀な産業人材が集まり、必要な労働力が確保されています。

- IoTやAIなど最先端技術の活用等による商品開発や、生産性向上が他県に先んじて進み、県内企業の競争力強化が図られています。また、地域経済を牽引する中核企業を中心に企業間連携によるサプライチェーンの形成が進み、県外等への売り込みが活発化し、地域の雇用の拡大につながっています。
- 地域経済の活性化に大きく貢献する県外企業や世界レベルで活躍するベンチャー等が県内に数多く参入しており、更なるイノベーションの創出に寄与しています。
- 県内企業において、賃金をはじめとした処遇や就労環境の改善が進んでいます。また、県内の産業を担う人材の安定的な確保・育成が進み、女性や高齢者が活躍し、企業の人手不足が解消されています。
- 県内高等教育機関と産業界の情報共有や連携により本県産業のニーズに応じた人材の育成やスキルアップへの対応が進んでいるとともに、就業構造の変革にも対応できるよう、新たなスキルを身に付けるための、社会人の「学び直し」が可能な環境が整っています。

②農林水産業の成長産業化

複合型生産構造への転換が大きく進展しているとともに、農林水産物の生産性の向上に加え、高付加価値化が図られ、本県農林水産業の成長産業化が進んでいます。

- 本県の農林水産業を牽引する多様な担い手が活躍し、農林水産業の成長を支えています。また、園芸メガ団地等での周年園芸により、労働力の通年確保が進んでいます。
- 稲作に加え、園芸作物、畜産など、複合型生産構造への転換が進んでいるとともに、ICT等先端技術を活用した効率的な生産体制の構築、企業とタイアップした新たな商品開

発や市場ニーズに対応した販路拡大などにより秋田ならではの強みを生かした農業の成長産業化が成し遂げられています。

- CLTや木鉄ハイブリッドなど新たな木質部材の実用化が進み、木材の活用範囲が拡大していくことで、県産材の活用が多方面で進んでいます。また、低コストで安定的な丸太供給体制や木材加工施設の整備が進み、木材需要の拡大にしっかりと対応しています。
- 収益性の高い新たな魚種の種苗生産技術の確立や科学的データに基づく適切な資源管理等により、水産資源の維持・増大が図られています。また、生産の効率化、流通の合理化、担い手の確保・育成により、本県漁業の活性化につながっています。

(3) 交通ネットワークが確立し交流が拡大する秋田

①交通ネットワークの確立

道路、鉄道、航空路などの交通ネットワークが充実し、県内外との人やものの交流が拡大するとともに、地域の生活交通の利便性が向上しています。

- 奥羽・羽越整備新幹線の実現等に向けた道筋が明らかになり、高速交通体系の更なる充実への期待が高まっています。また、高速道路ネットワークが確立され、県民や企業の利便性向上が図られています。
- 国内航空路線の充実が図られているとともに、台湾・韓国・タイなど、国際路線が多く就航しています。
- 自動運転などの技術革新や規制緩和が進み、地域の実情に応じた多様な生活交通が整備されています。また、地域に愛され、安定的に運行している第三セクター鉄道が、国内外の観光客にも人気を集め、交流人口の拡大にも貢献しています。

②観光、文化、スポーツ等による交流人口の拡大

観光が産業として確立し「秋田の食」のブランド化が進み、文化とスポーツが地域を盛り上げるとともに、国内外からの人やものの活発な交流を生み出しています。

- 各地に設立されたDMOなどを中心に、確かなマーケティングに基づく本県ならではの魅力ある観光コンテンツづくりや、最先端技術を活用した観光客の利便性向上に向けた取組などにより、国内外から多くの観光客が本県を訪れ、観光関連産業が確立されています。
- きりたんぼや稲庭うどん、高品質な日本酒など、ブランド化が進んだ「秋田の食」を中心として、国内外で県産食品の売上額が拡大し、食品産業が振興しているとともに、魅力的な誘客コンテンツとして活用され、交流人口の拡大にもつながっています。
- 文化財や、伝統工芸品等が適切に保存・伝承されているほか、新たな文化活動や伝統芸能の発表等が活発に行われており、交流人口の拡大にも貢献しています。
- 県民誰もが気軽にスポーツを楽しんでいるほか、県出身選手が国内外で活躍しています。また、地域密着型プロスポーツが人気・実力をそなえ、地域の元気を生み出しているほか、全国規模の大会や国際大会等も開催され、交流人口の拡大にも貢献しています。

(4) 県民が健康に生き生きと暮らし、多様な人材が育つ秋田

①県民の健康づくり

「健康寿命日本一」を達成し、元気な高齢者等が県内各地で生き生きと活躍しているほか、充実した医療・福祉サービスが全県域で提供されており、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境が整っています。

- ビッグデータ等の有効活用により、各地域の健康課題の分析が更に進み、普及啓発活動とあいまって健康づくりの取組がより活発し、健康寿命が大きく延伸しています。
- 必要な医療人材の確保や、対面診療と遠隔診療の適切な組み合わせ・AIの活用など、最新技術の活用が進み、住み慣れた地域に必要な医療サービスの提供を受けられる体制が整っています。また、ICT技術や介護ロボット等の利活用による生産性の向上、ボランティアなど住民の活躍等により、懸念されている医療・福祉分野における人手不足が解決されています。
- 地域包括ケアシステムから更に進んだ「地域共生社会」の実現により、誰もが住み慣れた地域において支えられ、あるいは支え合いながら、生き生きと暮らしています。

②多様な人材の育成

本県の優秀な児童生徒が、可能性を更に広げられる良質な教育環境が整っています。また、県内高等教育機関が、人材育成に限らず、社会貢献の面でも最大限の実力を発揮しています。

- 時代が変わっても、小学校、中学校、高校において、一人ひとりの子どもに目を配り多様性を尊重した、きめ細かな特色ある教育が推進されています。
また、急激に科学技術が発達し、時代が大きく変革していく中でも、児童・生徒は、柔軟に対応し活躍していくための能力を身に付けています。
- 県内の高等教育機関において、各校の強みや特色を生かした教育が実践され、県内外から多くの優れた学生を呼び込むとともに、産業界のニーズに応じ地域で活躍する人材を輩出しています。また、人口減少下における様々な地域課題解決に向けた提案や取組などを通じて、「地（知）の拠点」として、地域を支え地域に貢献しています。
- 児童・生徒が本県の文化財に日常的に触れて学ぶ環境が整っています。
また、若者から高齢者まであらゆる層が歴史・伝統・文化などを学んでいるとともに、得た知識を生かして活躍しています。また、あらゆる世代が、それぞれのライフスタイルに応じ、読書を楽しんでいます。

(5) 安全安心で暮らしやすい秋田

①県土の保全・防災力強化

災害に強い強靱な県土が形成されているとともに、地域の防災力が高まり、県民の生命と財産が守られています。

- 中小河川の改修や海岸整備、土砂災害対策が進められ、地震や津波、水害、土砂災害等から県民の生命と財産が守られています。
- 県や市町村において、災害救助用の備蓄物資の整備や災害時の情報伝達機能が充実強化さ

れているほか、地域の自主防災組織のネットワーク化の進展等により、災害時における対応能力が向上しています。

②環境の保全と美しい自然の継承

豊かな水と緑あふれる秋田がしっかりと引き継がれています。

- 家庭や事業所において、省エネに関する取組が広く普及しており、県民総参加による地球温暖化防止対策が進んでいます。
- 森林や里山、水辺環境など、秋田の豊かな自然の中で、生物の多様性が確保されているほか、野生鳥獣の適正な保護管理が行われています。また、県民、NPO、企業等の様々な主体により、「水と緑豊かな秋田」づくりが進んでいます。

③安全・安心な生活環境の維持

引き続き、事故や事件の少ない、日本一安全な地域となっています。

- 自主防犯や交通安全の意識が県民一人ひとりに定着しているほか、道路の案内表示や冬期の除排雪が充実し、犯罪や交通事故が少なく、日本一安全で安心な秋田となっています。

④ICTの活用による便利な暮らしの実現

通信インフラの整備が進んでいるほか、生活の幅広い分野でICTの活用が進み、県民の快適な生活を支えています。

- 県内に様々な情報基盤の整備が進んでいるとともに、ICT技術等を活用した行政サービスや民間サービスの提供が、幅広い分野において、県民生活の利便性向上に結び付いています。

3 目指す将来の姿の実現に向けた『プラン』の推進方針

目指す将来の姿である「人口減少を抑制し、県民が豊かさを実感して生き生きと暮らすことができる『ふるさと秋田』」の実現に向けて、『プラン』においては次の推進方針に基づき、各施策を展開していきます。

(1) 人口減少の克服を最重要課題に位置づけ

目指す将来の姿の実現のためには、まずは人口減少の克服が最も重要であることから、『プラン』では最重要課題に位置づけて県を挙げて強力に取り組を進めます。

(2) 「攻め」の取組と「守り」の取組の両面から人口減少を克服

人口減少の抑制に向けて、『プラン』においては、次の「人口減少の克服に向けた基本方針」に基づき、直接的な人口減少対策である「攻め」の取組と、人口減少下にあっても県民の安全・安心な生活環境を維持する「守り」の取組の両面から人口減少の克服に関する施策を推進します。

人口減少の克服に向けた基本方針

【攻めの取組の推進】

～「産業振興を通じた仕事づくりによる人口流出の歯止め」「首都圏から秋田への人の流れの創出」「結婚・出産・子育てに関する希望の実現」

県内産業の成長分野への参入をはじめとした産業振興による質の高い雇用の創出や、産業界のニーズに応える人材の育成、農業の複合型生産構造への転換等により、女性や若者の県内定着を促進し、人口流出に歯止めをかけます。また、若者の県内回帰の促進や、首都圏等からの移住者の呼び込みにより、秋田への人の流れを創出します。

併せて、結婚から出産、子育てに関する県民の希望の実現を目指し、人口の自然減抑制を図ります。

【守りの取組の推進】

～「健康で安全・安心な地域社会の形成」

県と市町村、市町村間の協働による行政サービスの水準の維持や公共インフラの共同管理等を進めることに加え、NPOなど多様な主体との協働による地域づくり活動の促進や住民同士の共助による買い物弱者対策支援などの取組を推進することで、健康で安全・安心な地域社会の形成を目指します。

(3) 第4次産業革命のイノベーションの取り込み

第4次産業革命のイノベーションは、産業や日常生活における様々な課題解決に資するものとして大きな期待が持てるものです。

本県もこうしたイノベーションを、製造業、農林水産業、サービス業など県内産業の振興策に最大限活用することで産業競争力を高め、1人当たり県民所得の向上等に結び付けていくとともに、地域公共交通の確保や地域医療ネットワークの構築など、県民の身近な生活を支える各施策に活用して様々な地域課題の解決を図り、来たるべき秋田の新時代に対応し、県民が豊かに安心して暮らすことができる環境づくりを進めます。

(4) 実効性のある施策を計画的・集中的に推進

秋田の目指す将来の姿の実現に向けて、最重要課題である人口減少の抑制に加えて、地域経済の活性化、農林水産業の振興、交流人口の拡大、県民の健康で安心な生活の実現、本県の未来を支える人づくりなどを進めていくためには、現状・課題・取組方針について県民の皆様と認識を共有し、理解を得ながら、効果的に施策を展開していくことが重要です。

そのため、施策の展開に当たっては、県民の皆様十分に取組の周知を図り、その意見を反映させながら、適切に進行管理を行うことで実効性を確保しつつ、人口減少克服をはじめとした様々な課題を解決し、県政の発展を目指す施策を事業を、計画的・集中的に推進します。

4 4年間で創造する“4つの元気”

秋田の目指す将来の姿の実現に向けて、『プラン』の推進期間である4年間（平成30年度～平成33年度）で、4つの元気を創造します。

元気A 人口減少の抑制と地域を守るシステムの構築

本県産業の競争力を高め経済基盤の強化を図り、魅力ある雇用を創出し、女性や若者の県内定着・回帰を進めるとともに、結婚・出産・子育てしやすい環境の充実により出生数等の減少に歯止めをかけ、人口減少の抑制を目指します。

併せて、地域課題の解決や行政サービス水準の確保に向けて、住民の共助や県と市町村との協働などを促進し、人口減少下にあっても県民の安全・安心な生活を確保できるシステムを構築します。

元気B 県内産業の「稼ぐ力」の向上と質の高い雇用の創出

第4次産業革命の先端技術の導入等により県内産業の生産性向上を促すとともに、製造業や商業等における時代のニーズを捉えた新たな商品・サービスの開発や、農林水産業を担う人材の育成・確保や複合型生産構造への転換の加速化、6次産業化の促進等による付加価値の創出を図り、県内産業の「稼ぐ力」を高めることで、質の高い雇用を創出します。

元気C 交流人口の拡大と交通基盤の充実

秋田犬や秋田の食、文化など、秋田ならではの魅力あるコンテンツの充実や誘客プロモーションの積極的な展開に取り組み、インバウンドを含む交流人口を拡大させ、地域の賑わいを創出します。

また、これらの活発な交流の基盤となる道路や公共交通ネットワークの充実を図ります。

元気D 健康で安心な生活の実現と未来を支える人づくり

県民一人ひとりの健康寿命の延伸を図るとともに、健康・医療・福祉サービスの提供体制の整備や、地域の人々が共に支え合う社会の実現に向けた取組を進め、県民の健康で安心な暮らしを確保します。

併せて、教育環境を充実させながら、本県の未来を切り拓く人材の育成を進めるとともに、県内産業や地域の活性化に資する大学等の振興を図ります。

